



新たなテーマ

梅雨に入り、ジメジメした日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。4月から5月にかけては、名古屋ウズベキスタン友好協会の発足式やウズベキスタンウィークなどでウズベキスタンと関わるものが何かと多く中国の方々とはまた違った、面白さを感じておりましたが、なんと言いましても今年は平和友好条約締結40周年の年でもあり、文化協会としても交流事業や社会貢献事業を更に推進していかなければならない年だと考えております。

また、今年は中国駐名古屋総領事館のご協力をいただき、上山奨学財団から例年8名の高校生を派遣するところ12名の高校生の派遣をすることになり、大変期待をしているところです。

その中で、前日例会でも申し上げましたが、6月3日に協会の理事会を行いました。特に今後協会をどのようにしていくかという議題について重点的に話し合いをいたしました。今後協会を続けて行くのか行かないのか、続けるとすれば何をするのかというような踏み込んだ話をさせていただきました。その中で、日中文化協会設立の趣旨にもあります、中国人留学生のケアという点に関して、設立当初の時代背景と現在とのギャップが大きすぎるのではないかとこの発議をさせていただきました。

私自身、留学生を扱う日本語学校を運営している中で感じることは、中国人留学生は総じてほかの国からの留学生より環境的な面、学習的な面、経済的な面のいずれにおいても、かなり高いレベルにあり、特に援助を求めていることではございません。留学生のケアを主に据えるとターゲットが中国人留学生ではなくなってしまうことから、別な問題に取り組んだ方がいいのではないかと提案させていただきました。

かねてより、私自身が取り組みたいテーマに、在日中国人の学歴教育というものがあります。特に中学を卒業して間もなく日本へ連れてこられてしまう子供たちのケアです。家族滞在ビザ取得には年齢的な要素が強く関わっているため、高校卒業時ではなく、中学卒業時に連れてくるケースが多く、学歴的にも日本語能力的にも乏しく、留学生とは違い帰る場所もないという条件の彼らこそ、我々がケアしなければならない子供たちであると強く思います。今後、準備を進めて参りますので、是非、皆様のご協力をお願いいたします。

上山伸治

月例会報告

6月5日の例会は、唐啓山氏による「中国の漢字三千年」というテーマの講演を行いました。お話の一部をご紹介します。

現在の漢字は、世界の中でも中国と日本だけで使われています。この一点のみで、中国と日本の結びつきの強さがうかがえます。

文明の中で「文字」というのはとても重要なものです。中国には56の民族があり、彼らはそれぞれ独自の言葉を持ちますが、およそ3分の2の民族は文字を持ちません。失われてしまった文字も多く、文化的側面からは非常に残念なことです。

漢字は古代の文明の中で、唯一、現代まで使われている文字です。それ以外の古代文明の文字は、すべて使われ

なくなっていました。その理由のひとつに、漢字は単に情報伝達の手段というだけでなく、美の表現の手段であり、美の鑑賞の対象であったことが挙げられるそうです。

講演の中では、蒼頡という四つの目を持つ人物によって造られた伝説のある最初の文字や、現代で最古の文字として認められている甲骨文字、青銅器に刻まれた金文や、紙の発明によって普及した文字など、様々な文字の歴史を紹介していただきました。

現在は、甲骨文字以前の文字の存在が研究されているそうです。



中国料理店紹介

地下鉄東山線・今池駅の近くにある本格中国料理店「麒麟楼」です。8番出口を出て南へ200メートルほど進んだ先で、いかにも中国風な赤い大きな看板を見つけることができます。

メニューが豊富で日本人にも人気があります。お昼のランチメニューから麵丼セットメニュー、夜はコース料理や飲み放題まであり、明け方の4時まで営業しているそうで

麒麟楼

す。お酒類も豊富なので、二次会などに良いかもしれませんね。

ただ、本格中国料理なので、辛いものは手加減なく辛いかもしれません。麻婆豆腐や台湾ラーメンはぎりぎり大丈夫だったのですが、キュウリの四川風和え物は、食べ進めるに従って辛さが蓄積していき、食べ終わる頃には口の中がひりひりしていました。



所在地は、千種区今池南1-25。今池から吹上に向かって環状線を下ったところにあります。大きな看板が出ていて見つけやすいです。

成語故事コーナー

xiōngyǒuchéngzhú

胸有成竹（胸中に成竹あり）

北宋時代、文同という有名な詩人が居ました。知識が豊富な賢者でもあり、絵画も得意としていました。特に、彼の描く竹は有名で、彼の家には竹の絵を求めて、大陸中から大勢の人たちが訪れました。

ある日、訪れた男が尋ねました。「あなたは何故、そんなに竹を描くのが上手なのですか？」

文同は答えました。

準備万端で自信をもって何かを行うとき、このような表現を使うそうです。日本語ではあまり馴染みのない言葉のような気がします。「弘

「私の家をご覧ください。周囲にはあらゆる種類の竹が存在しています。一年中、どんな天候の日でも、朝から晩まで竹を観察することができます。晴れの日でも雨の日でも、竹は様々な顔を見せてくれます。私はそれらを毎日観察していました。その結果、どんな日でも、どんな竹でも、その根も幹も枝も葉も、いつでも自分の心に描くことが

法にも筆の誤り」「猿も木からおちる」「河童の川流れ」など、失敗を連想することわざはたくさん思い付きそうなのですが…。

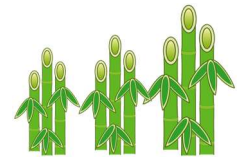
できるようになりました。」

男はとても驚きました。

「それは凄い。貴方の心には竹のすべてがあるのですね。」

文同は胸を張りました。

「そうですね。そして私は自分の心の竹を描いているのです。」



ここで登場する文同は大変有名な人物だそうで、墨竹画の大家として現代でも名前が残っています。

漢方教室 90 霊芝のエッセンス 霊芝孢子粉

■霊芝孢子粉とは

霊芝孢子粉は、霊芝が成熟するころ、菌傘に現れる褐色の粉末状の物質です。1年に1度、1kgの霊芝からわずか1gしかとることができない霊芝孢子には、βグルカンをはじめ霊芝酸、アミノ酸、有機ゲルマニウムなど多くの体に良い成分が、凝縮されています。それらの健康パワーは、霊芝子実体の数十倍以上もあるとされています。

■免疫調整作用はトップクラス

霊芝の主な働きは免疫力の調整作用です。免疫力が下がっている場合には強化し、過剰な場合には緩和します。アメリカの研究や中国の臨床

試験で、がん治療の副作用軽減、免疫力の強化、さらに免疫システムの病気であるリウマチにも効果がすぐれているということが証明されました。

霊芝孢子の有効成分の種類や含有量は、子実体や菌糸体よりも多く、霊芝孢子は、霊芝の凝縮エッセンスとも言えます。

■霊芝孢子粉のβグルカン含有量

日本安恵の霊芝孢子粉1粒には、アガリクス110本分に相当するβグルカンが含まれています。さらに純



度で換算すれば、アガリクス煎じ液の約300倍に相当する高い純度になっています。

さらに、日本安恵の霊芝孢子粉は、独自の外壁破碎技術で、霊芝孢子の外壁を破壊することで、より多くの有効成分を吸収されやすい状態にしています。



ご興味のある方は、

TEL 052-242-3930 まで。
中統ビル3階 日本安恵株式会社

中国からの引き揚げ—思い出すがままに⑬

韓国と北朝鮮を分断する国境線38度線を越えて、最初に到達した大きな都市がソウル（京城）でした。街中に出た記憶はありませんが、大勢の人が行き交う様子は見てとれました。収容施設に2・3日滞在したのち、無蓋貨車に乗せられ、プサン（釜山）に向かいました。プサンに着いて、プサン港の埠頭にある収容施設で、日本に帰る引揚げ船を待つことになりました。乗船するまでの間、港の中の限られた場所でぶらぶらして過ごしました。物を取られる心配もなく、命の危険を感じることもなく、平和な時を過ごしておりました。そんなとき、大変なことが起き、その様子を目撃し、今でも強く印象に残っています。

プサンに着いて何日か経ったときのできごとです。埠頭に人だかりがしていました。一人の男を囲んで、人の輪が見る見るうちに大きくなっていきました。そして、一人の男を次から次と蹴ったり、殴ったり、すさまじい光景でした。周りの男たちが、入れ替わり立ち替わり殴りかかり、輪の中心にいる男は抵抗もできずに殴られていました。

そのうち、左の眼球が外に飛び出してしまいました。まさにリンチです。周りにいた警備の兵は、傍観するのみで止めることはしませんでした。

なぜこのようなことが起きたかという、リンチに遭った男が、同胞の日本人を売ったというのが大きな理由のようでした。詳しくは次号でお知らせします。

杉本克治

5・6月誕生日の人の言葉

去る5月1日に76歳になりました。今年には平凡に過ぎるのですが、来年の5月1日は非常に記念すべき日でありまして、現在の天皇陛下が退位して皇太子殿下が即位します。そして、平成が次の元号になります。

私としましては、段々と昭和が遠くなり、随分と歳を取った、という心境であります。

会員 大竹

我的生日是1936年5月16日。现在、82岁。

会員 杉原

私は、50歳を超えて歳を忘れましたが、今日だけは正直になります。6月1日で75歳になりまして、後期高齢者の仲間入りになりました。

会員 山本

6月15日で68になります。今、お菓子作りをしてまして、この5月の24日、スペインで金賞を3つも取りました。今まで銅しか取ってなかったので、死ぬまでに金賞を取りたいと思っていましたが、嬉しい嬉しい誕生日祝いになりました。いつまでもチャレンジ精神を忘れずに、何にでも挑戦していきたいと思います。

会員 竹本

ゲームの変遷

私の趣味のひとつに「ゲーム」があります。振り返ってみると、私くらいの年齢（1970年代生まれ）の人間は、ゲームの発展と共に育ったようにも思えます。記憶にある一番古いゲーム機は、「ゲームウォッチ」と呼ばれる携帯ゲームです。そして、小学校に通っている頃、「ファミコン」が登場し、家庭用ゲーム機のブームが始まりました。

高校時代はオーストラリアで暮らしましたが、オーストラリアではゲームセンターで遊ぶ「アーケードゲーム」が人気でした。ほとんどのゲームが日本製だったことに驚きました。

日本へ帰ってきて間もなく「Windows95」が登場しました。これによって、友人たちの間でも、パソコン＋インターネットという環境が一般的になりました。その後、インターネット環境も向上し、インターネットを介してプレイする「オンラインゲーム」が登場しました。他のプレイヤーと協力したり対戦したりするのですが、そのためにインターネット上のラウンジのような所に集合していました。インターネットで知り合った友人も多くいました。

近年では携帯電話がスマートフォン（スマホ）に形を変え、スマホゲームなるものが普及しています。スマホのGPSと連動させ、現実の世界とゲームをリンクしたAR（拡張現実）ゲームも流行しました。また、VR（仮想現実）ゲームも発展を続け、VRゲーム専用機なども発売されています。この先どこまで変わっていくのか、想像が追い付かないくらいです。

その一方で、6月18日にWHOが発表した国際疾病分類（ICD-11）では「ゲーム障害」が正式に認定されています。ゲームに熱中するあまり、日常生活に支障をきたして苦しむ人が多いため、医療機関では多くの症例から適切な援助を施すノウハウを蓄積しているところです。特にスマホゲームは、インターネットを利用して世界中のゲームにアクセスできる上に、その多くは無料で開始することができます（開始後はお金を使わせる仕掛けに満ちていますが）。なんとなく始めた結果、深くはまり込んでしまう状況は想像に難くありません。

ゲームファンの一人としては、ゲーム社会の健全な発展を願う次第です。

お知らせ

★7月例会

日時：7月3日（火）18：00～

講師：上山みさ子氏

★JCCA 中国語サロン

日時：7月7日（土）21日（土）14：30～

★日本語広場

日時：7月10日（火）14：30～

★8月例会

8月例会は恒例の納涼親睦会です。

★9月例会

日時：9月4日（火）18：00～

講師：ウンドス氏（馬頭琴演奏者）

・理事会と社員総会

6月2日（土）、中統奨学館ビル9階にて理事会と社員総会を行いました。今後の運営方針について話し合い、今年の弁論大会の中止が決定しました。旅行の企画は再度見直し、今期中の実現を目指すことになりました。

また、理事長から新たな提案があり、在日中国人に対する支援活動に関して論議されました。

・会員総会

6月5日（火）の会員総会では2017年度の活動報告と会計報告を行いました。月例会の開催、ニューズレターの発行、日本語弁論大会、春節祭でのバザーなどの活動がありました。また、今後の方針に関して理事長からの説明もありました。

2017年度収支報告

収入の部	
事業収入	253,900
会費収入	432,500
前期繰越	704,210
収入合計	1,390,610
支出の部	
事業費	595,007
事務管理費	110,390
次期繰越	685,213
支出合計	1,390,610

7月例会

・日時：7月3日（火）

18：00～ 中国語で話そう会

18：50～ 65歳からの健康リフォーム
～終の住処で快適な日々を～
講師：上山みさ子氏

19：45～ 茶菓での交流会

・会場：中統奨学館ビル 4階

・講演の概要

住生活において、ここ数年のテクノロジーの進化は高齢者の暮らしを飛躍的に楽にしています。けがや病気からできるだけ安全安心に、健康で快適な自宅での暮らしが長く続くようにと願って、リタイア後の住環境についてお話いたします。

・上山みさ子氏プロフィール

山陽放送でアナウンサーとして勤務後、インテリアコーディネーターに転職。30年にわたり、500件余の一般住宅・モデルハウス・医院・店舗等を手がける。

日中文化協会では設立時から司会を担当。

親子で贈る二胡 七夕のゆうべ11「絆」

・日時：7月7日（日）15：30開演

・会場：名古屋能楽堂
名古屋市中区三の丸1-1-1

・入場料：5,000円（全席指定）

・主催：チャン・ビン音楽企画

TEL：052-763-1082

編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp宛にご送付ください。ニューズレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会

編集長 上山耕治